



地方分権時代における 地方公務員の使命と役割

日 時：2017（平成 29）年 11 月 8 日（水）14:00～16:00

場 所：高崎経済大学 7 号館 2 階 72A・B 会議室

対 象：地方自治体職員

定 員：50 人

受講料：無料

日本の地域の多くは、地域経済の停滞とそれに伴う税収減、雇用機会の減少、少子高齢化、空き家問題、コミュニティの崩壊など、日本のとりわけ地方においては、様々な問題を抱えています。

高崎経済大学地域科学研究所では、こうした地域の状況をふまえ、自治体経営にヒントとなるよう専門家による地域経営セミナーを開設いたします。今年度は、群馬県職員として長く職務にあたられた千代清志氏に、地方公務員の使命や役割について語っていただき、地方分権時代にふさわしい地方公務員のあるべき姿について考えます。

講師との討論も予定しております。また、日頃の職務上の悩みなどに対して講師からアドバイスもしていただけます。自らの研修の場としてご活用いただけたら幸いです。

《プログラム》

基調講演 「地方分権時代における地方公務員の使命と役割」

群馬県商工会連合会専務理事 千代 清志 氏

総合討論 コメンテーター：佐藤 徹 地域政策学部教授・岩崎 忠 地域政策学部准教授

《基調講演概要》

大学を卒業し、退職まで地方自治体に勤務すると、通常 40 年弱の公務員生活が続きます。時代の変化は、加速化しており、仕事のやり方、地方財政の状況等は大きく変化しました。仕事のやり方では、この 40 年で、電卓、ワープロ、パソコン、インターネットが次々と登場して仕事環境は大きく変わり、地方財政を巡る状況も、積極策の時代、緊縮の時代を繰り返してきました。

各市町村に 1 億円を配った「ふるさと創生事業」、自己財源 25% で残りの事業費は起債、それを後に地方交付税で措置するとされた「地域総合整備事業債」など、地域整備を始めとして、地域の活力を向上させるための多くの施策も実施されました。

AI（人工知能）で人はいらなくなるといわれ、人口減少から自治体自体が消滅するといわれる時代です。しかし、地方公務員と地方自治体を巡る状況は、過去から継続的に変化し続けています。変化の歴史を顧みる事で、今後の指針を得る上で何らかの参考になる事もあるかもしれない、と考えています。

《講師プロフィール》

昭和 53 年 3 月 早稲田大学卒業

昭和 53 年 4 月 群馬県庁入庁 総務部地方課選挙係配属

平成 27 年 3 月 群馬県庁退職（北群馬渋川振興局長）

平成 27 年 6 月 群馬県商工会連合会 専務理事就任



主催：高崎経済大学地域科学研究所

後援：高崎市

◎大学へのアクセス

《電車・バスをご利用の場合》

東京駅から北陸・上越新幹線で約 1 時間 高崎駅下車
高崎駅西口からバスで約 20 分 「経済大学前」下車

★群馬バス（2 番乗り場）

本郷經由室田/沖經由箕郷/榛名湖行き

★市内循環バス「ぐるりん」（4 番乗り場）

系統番号 3（経大先回り）

《車をご利用の場合》

関越自動車道高崎インターチェンジより
県道 27 号（高崎駒形線）を高崎・安中方面へ
国道 17 号に入り、「上並榎町」交差点を左折し直進
※車でお越しの方は、大学の駐車場をご利用ください。



◎お申込み・お問合せ

お申込み締切 10月25日（水）

お申込みは、受講申込書に必要事項を記入し、FAX または E メールで地域科学研究所までお送りください。

高崎経済大学地域科学研究所

（事務局：研究グループ研究支援チーム 青木）

〒370-0801 高崎市上並榎町 1300

TEL 027-344-6267 FAX 027-343-7103

E-mail chiikikagaku@tcue.ac.jp <http://www.tcue.ac.jp/chiikikagaku/index.html>

<受講申込書>

FAX：027-343-7103 E-mail：chiikikagaku@tcue.ac.jp

2017 年度地域経営セミナー受講申込書

高崎経済大学地域科学研究所 宛

申込日 2017 年 月 日

ふりがな				性別	男性 ・ 女性
氏 名					
自治体名			所属部署 ・ 役職		
所 在 地	〒				
電話番号		FAX 番号		E-mail	
通 信 欄					

※ご記入いただいた個人情報は、本セミナーの業務のみに使用いたします。

申込締切：2017 年 10 月 25 日（水）